

西部地域健康センター生きがい活動

生け花講座

「笑う角には福来たる」。平均年齢六十ウン歳!?
いきいき、わいわい、楽しく活動中!

グループ 紹介



■6月に行われた展示発表品の一つ



西部地域健康センターで、毎月第4金曜日に行われている「生け花講座」。この講座は一風変わっています。

普通「生け花」というと、花器に向かって正座し、厳かに花をいけるイメージがありますが、この講座では、「生け花に関することなら何でもOK」の教室です。つまり、いけばなで使う花瓶を陶芸で作ったり、花自体を野外で観察してみたりと、活動範囲がとにかく広い。

取材にうかがった日には、ススキの穂で「ふくろう」を作っておられました。ススキの穂は生け花で普通に使われますが、そこに留まらず、「自ら作って飾ってみる」という講座の柔軟な姿勢がそこにあります。

講座の始まりから終わりまで、笑い声の絶えない、和気藹々とした雰囲気が、まさに「生きがい活動」といった印象でした。

あとがき

今年の夏は早くから連日真夏日が続き、暑さに悩まされた。夏の終わりから秋の声を聞く頃になると、次々に台風が襲来し、風水害・高潮等による被害も例年に無く多く発生した。特に台風18号では、広島での瞬間最大風速は60メートルを越え、過去に例を見ないものであった。

熊野の農家では、早稲の刈入れ時に天候不順で稲は倒れ、田の水は引かず、稲の取り入れは出来ず、穂は水に浸かり、惨めな田の姿をあちこちで目にした。また、家屋も屋根が損壊したり、家全体が半壊に近いものも軒かあったようだ。

今年のような異常気象は、工場や車などの排気ガスに含まれる二酸化炭素の多量な発生で、地球温暖化が進んだのが原因とも考えられているようである。

今後、地球はどうなっていくのか心配である。地球上に住む我々は、何を考え何をしたら良いのだろうか。なんとしても住みよい地球を守っていかねばならない。

(議会広報委員長)



次回の定例会は、**12月14日(火曜日)**を予定しています。

議会だより題字

熊野町出身 東京在住
荒谷 大丘 さん

表紙写真

熊野陸上スポーツ
少年団のみんな



この議会だよりは再生紙に「エコマーク」と「ソイシール」の認定を受けた環境対応型インキを使用して印刷されています。

熊野町議会のホームページができました。熊野町のホームページからアクセスを!
<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>